

議会だより

おながわ

No.

175

令和6年1月19日



私たちも女川を守る

定数1減、11人の議員が決まる

2~3

町民農園まもなく開園（12月定例会）

4~5

クリーンセンター重機購入（11月臨時会）

6

議会を傍聴（女川小学校、更生保護女性会）

7

ズバリ！町政を問う（9議員が一般質問）

8~17

宮城800
22-70

11人の議員が決まる。 頑張ります。

第5回臨時会が11月17日招集され、正・副議長の選挙、監査委員、各常任委員、議会運営委員、議会広報特別委員等が選任されました。



子どもたちに夢を、
美しい町づくりを、
高齢者には生きがいを。

副議長

佐藤誠

(旭が丘区)
—



議会のスキルアップに努め
住民福祉の向上と
わかりやすい議会を目指します。

議長

佐藤良一

(女川南区)
—

議会運営委員会

委員長 佐藤 誠一
副委員長 木村 公也
委 員 鈴木 良徳
宮元 潔
鈴木 公義
阿部 律子

議会運営を円滑にするために設置しています。

原発対策特別委員会

委員長 鈴木 良徳
副委員長 宮元 潔
委 員 議長を除く全議員
原子力の安全確保の充実強化を図るため、原子力発電所の安全対策及び防災対策、環境保全などさまざまな対策に助言・調査・視察・研修を実施します。

公共施設整備対策特別委員会

委員長 木村 公也
副委員長 鈴木 良徳
委 員 議長を除く全議員
公共施設整備基本構想から基本計画及び実施計画・建設に至るまでの施設の必要性や施設設備概要を調査し、将来に向けた維持管理費のあり方等を助言します。

議会広報調査特別委員会

委員長 隅田 翔
副委員長 阿部 律子
委 員 宮坂 千尋
高野 晃
鈴木 公義
佐藤 誠一

読みやすく、わかりやすい議会だよりの編集・作成を目指します。

監査委員

議会選出監査委員
木村 公也

地方公共団体の財務に関する事務の執行および当該団体の経営にかかる事業の管理を監査することが主な基本的権限です。

石巻地区広域行政事務組合

議員 佐藤 良一
鈴木 良徳
2市1町のごみ処理等の事務を共同処理するための組合
宮城県後期高齢者医療広域連合議会
議員 鈴木 公義
県内全35市町村の後期高齢者医療の事務を共同処理するための組合

定数改正 1人減

町づくり 全力で

	隅田 翔 すみた しょう	健康増進や活動人口増加で、活力のある町づくりを推進します。
大原南区		

	木村公也 きむら こうや	震災後、女川町に引き続き住んで良かったと思わせる町にしたい。
女川南区		

	宮坂千尋 みやさか ちひろ	若い世代の声を町政に反映し人も町も豊かな女川を未来へ継ぐ。
旭が丘区		

	宮元 潔 みやもと きよし	ずっと女川でいられるよう、持続できる町づくりを目指します。
浦宿一区		

	鈴木良徳 すずき よしのり	商工・水産業の振興と子育て支援の充実。スポーツの町女川の復活。
上二区		

	高野 晃 たかの あきら	住みやすく、優しい気持ちになれる町をめざします。
大原南区		

	阿部律子 あべ りつこ	暮らし福祉を大切に。再生可能エネルギーに力を入れた町づくりを。
針浜区		

	鈴木公義 すuzzuki きみよし	女川の宝を守り 未来に責任を持つ。
桐ヶ崎区		

	阿部 薫 あべ かおる	人ありて我ありを肝に銘じ町民目標で今期も頑張ります。
清水区		

常任委員会の役割

常任委員会は、その部門に属する事務に関し調査を行う権限を持っています。自主的にテーマを設定し調査を行い、より良い施策になるよう活動します。また、議長を除く全議員で構成しています。

総務民生常任委員会

所管 総務・企画・税務・会計
町民生活・健康福祉課等

委員長 鈴木 公義
副委員長 高野 晃
委員 木村 公也
隅田 翔
阿部 律子

産業教育常任委員会

所管 建設・産業振興
上下水道課・教育局

委員長 宮元 潔
副委員長 宮坂 千尋
委員 鈴木 良徳
阿部 薫
佐藤 誠一

まもなく開園

12月
定例会

会期
12月13日～15日

初日から2日間9人の議員が一般質問を行った後、条例の制定6件、その他の議案4件、補正予算7件を審議しすべての議案を原案どおり可決しました。

一般議案 条例の制定

1区画6000円は妥当か

問 使用料が年間平均単価375円で、1区画6000円は高い

と感じますが、この単価に設定した理由は。

◇女川町民農園条例
町民が野菜や花の栽培を通じて自然とふれあうとともに町民相互の交流を促進し、健康的でゆとりのある生活の実現を図るために設置するもの。

答 水道料金や維持費が発生するので、6000円が適当だと判断しました。また、畑に合う土も全て隣の市から用立ており整備費用等も含めれば、妥当だと考えます。

◇浦宿駅前広場等
整備工事

変更前	変更後
1億4300万円	1億6372万円

問 駐輪場の台数は足りるか

答 駐輪場の台数は14台ですが、確認した時には21台止まっていたので不足しているのです。

増額理由
電気設備工（防犯カメラ）等の増工による増額。

変更後	変更前
1億6372万円	1億4300万円

問 駅前駐輪場の整備予定台数は14台ですが、確認した時には21台止まっていたので不足しているのです。

答 担当課で確認した時は4台の駐輪しか確認していません。

現在の駐輪場跡地は子どもなどを待つ車両や近隣の店舗での使用も考えられますか、まだはっきりとは申し上げられません。

契約の一部変更

◇浦宿駅前広場等
整備工事

問 なぜ防食工事は今年度ではなく令和6年度に変更するのですか。

防食工事の変更理由は

◇令和4年度万石浦漁港
針浜地区防潮堤工事

変更前	変更後
3億5805万円	4億1577万円

問 着実な工事を

答

昨日の物価高騰の影響で当初予算よりも上がり現予算での防潮堤完成が不可能になりました。



駐輪台数は足りるのか（建設中の駐輪場）



町民農園

補正予算

歳入歳出にそれぞれ2億6681万5千円を追加し、
予算総額を96億3408万円としました。
主な内容は以下のとおりです。

歳入

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	6772万円
ふるさと応援寄附金 ①へ	987万円

歳出

民間賃貸住宅新築等支援金 ②へ	8000万円
非課税世帯等臨時特別給付金 ③へ	6850万円
費用弁償（教育費旅費）④へ	88万円
普通旅費（教育費旅費）④へ	236万円

答問

①伸びたふるさと納稅

ふるさと応援寄
附金の増額は。

さとふるの一括
代行契約により、
ウェブサイトでの目に触
れる機会を増やしたこと
や、10月からの制度改正
による駆け込み、さらに
は関西地方のテレビで本
町のギンザケが紹介され
たことによる増加等によ
るものです。

答問

③非課税世帯へ7万円

住民税非課税世
帯等臨時特別給付

金、燃料高騰対策運送事
業者支援金、高圧電力利
用事業者支援金に対する
国からの交付は。

国からの事業費
限度額になっていますが、
不足分は一旦町で負担し、
来年度追加交付で補てん
されます。

答問

②民間賃貸住宅支援

民間賃貸住宅新
築支援金の増です

が、申請状況は。

今回を含めると
アパートタイプが
50部屋、戸建てが7戸に
なります。今後、所得超
過者の公営住宅からの入
居や、複数人世帯での移
住等への対応を検討して
います。

答問

④ついにカタールへ

カタール国訪問
旅費等の内容は。

震災後の本町へ
の多大な支援に対
する御礼と、次年度から
開始予定の中学校生徒派
遣事業のお願いのためで
す。町長、議長、教育局、

学校、さらに買受人組合
から、9名での訪問にな
ります。

※カタールから町に10億
円、マスカー（女川魚
市場買受人組合冷凍冷
蔵施設）建設に20億円

の支援をいただいてい
ます。



民間賃貸住宅建設ラッシュ

クリーンセンター 火災による重機購入



第5回
臨時会

第5回臨時会は11月17日開催し、原案どおりすべて可決しました。



ごみの搬出作業に必要不可欠

一般議案
専決処分

補正予算

◇財産の取得
・油圧ショベル一台
913万円
・自走式二輪せん断機
4290万円

歳出
◇廃棄物処理用
重機購入費
913万円
令和5年8月1日の火
災により焼失した油圧
ショベルの更新に係る
購入費
▲85万2千円

歳入歳出に、それぞれ
838万2千円を追加し、
予算総額を93億6726
万5千円としました。
主な内容は、次のとおり
です。

問
クリーンセンタ
ー内の火災、今後
の教訓、対策は。
答
当日運搬できる
ごみだけを破碎し、
重機は集積場所から離れ
た所へ保管します。

議員研修

「住民との対話が生命線」

町村議会議員講座
1月16日開催 議員1名出席

「非常時」における議
会議員の最大の仕事は、
住民にどんな不安や生活
の支障が生じているかを
丁寧にを集め、議員間の徹
底した討議を通じて解決
へ向けた施策を議会として
決定することである。

「災害時の議会・議員の役割」

講師：福嶋浩彦氏（中央学院大学教授）

本当に大事な情報は地
域・住民の中にあること
を念頭に置いて、常日頃
から町民の皆様との対話
を大切に、安心を与える
れる町づくりに努めます。

「本物の政治改革とは」

石巻地区2市1町特別職・管理職等研修会
1月16日開催 議員8名出席

現在、パーティ一券裏
金問題で「政治と金」が
大きく報道されているが、
本物の政治改革とは政治
全体を見ることであり、
政治は短期、中期、長期
の国家戦略を示していく
ものである。また、権力
には常に誰かがブレーキ
をかけなければならず、
官民政が一体となり長期
的な国家戦略を示さなければ
世界についていくことは
できない。



会場の生涯学習センターは満席に

「政局の動向と日本政治の課題」

講師：伊藤惇夫氏（政治アナリスト）

一強他弱では本来あるべき緊張感は生まれない。
各政党は国づくりのビジョンをしっかりと示し
臨むべきである。



“私たち”が暮らす町

— 議会見学・議会傍聴 —



緊張感が伝わります



モニター越しでも議会見学

12/13

議会見学感想

12/14

傍聴感想・意見

女川小学校6年生

女川町更生保護女性会

- 女川町をより良くするための話し合いを聞くことができて、自分たちが住んでいる町に少し詳しくなれたような気がします。
- 女川の町や私たちを支えるために議会が開かれていて、意外と自分にとって身近な問題が多く、他人事ではない事に気がつきました。テレビのニュースで見ているような議会を見学することができて、緊張もありましたがとても貴重な体験でした。
- モニター越しでも議会見学

- 学校や自分たちの暮らしの中で、そして女川の町で自分に出来ることが見つけて頑張りました。
- 女川の町や私たちを支えていたり、意外と自分にとって身近な問題が多く、他人事ではない事に気がつきました。
- テレビのニュースで見ているような議会を見学することができて、緊張もありましたがとても貴重な体験でした。

皆さんが行っている朝のあいさつ運動は、町や人に元気を与えてくれます。「自分に出来ること」のひとつとして、町を明るく照らし続けてくれることを期待しています。

女川小学校6年生が議会見学に訪れました。皆さんの姿勢や感想から、「自分たちの住む町」を学ぼうとする一生懸命さが伝わってきます。

- 学校や自分たちの暮らしの中で、そして女川の町で自分に出来ることが見つけて頑張りました。
- 女川の町や私たちを支えていたり、意外と自分にとって身近な問題が多く、他人事ではない事に気がつきました。
- テレビのニュースで見ているような議会を見学することができて、緊張もありましたがとても貴重な体験でした。

女川小学校6年生が議会見学に訪れました。皆さんの姿勢や感想から、「自分たちの住む町」を学ぼうとする一生懸命さが伝わってきます。

議会より

女川小学校6年生が議会見学に訪れました。

皆さんは、自分の姿勢や感想から、「自分たちの住む町」を学ぼうとする一生懸命さが伝わってきます。

- 議会進行中の緊張感が良い。本町の議員は若い人が多い。
- 質疑応答の場に接して法令を作る、承認、運用するのは大事なことと認識しました。

「百聞は一見に如かず」常日頃の興味、関心が実体験により、熱意ある討議に好感を抱きました。

- 議員も町民であり自線は同じですが、その代表であり、いろいろ指導してもらうためにも地域に密着してほしい。
- 町民生活の向上、議員の成長のためにも、地域の皆様の声を議会に届けてください。

皆様からの感想や意見を受け止めて議会活動に取り組んでいきます。

女川町更生保護女性会が傍聴に訪れました。町民の一員として町政に参加しているように感じ、意義深かったと感想をいただきました。

議会より

女川町更生保護女性会が傍聴に訪れました。

- 普段からの議員の情報収集、下調べ、町当局の答弁作成が大変な仕事と感じました。
- お互いの立場を理解し建設的な討議の推進を願います。

- 質問答弁のやりとりを聞いてやりとりを聞いていました。
- 県と町の縦割り行政の弊害をひしひしと感じました。
- 感情を抜いた発言をお願いします。

- 温かい声掛けや励ましに勇気をもらいます。
- 今後も住民と同じ目線で言動する地域に根差した議員、議会があり、安心して生活できるよう福祉の向上に努めてください。

次回の定例会は3月1日からです。



気軽に傍聴にお越しください。

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

9議員が質問

町政を問う

隅田 翔議員……………P 9

- (1) 長期的な町財政運営の提示を
- (2) 卒業アルバム代の補助は
- (3) 技能実習生が暮らしやすい町に

木村 公也議員……………P 10

- (1) 町財政安定化へ向けた取組は
- (2) 使用済核燃料税を導入すべきでは
- (3) 一般財源の確保対策は

鈴木 良徳議員……………P 11

- (1) 国道沿いの雑草等の刈取り主体は
- (2) 運動公園内の保守管理は

宮坂 千尋議員……………P 12

- (1) ライドシェア導入、町長の見解は
- (2) 小児科拡大、子育て世代へ安心を

阿部 律子議員……………P 13

- (1) 物価高騰対策の取組は
- (2) 学校給食費の無償化を
- (3) 介護福祉施設の拡充を

※ 3問目の一般質問は、紙面の都合上、すべて見出しのみの掲載としています。

佐藤 誠一議員……………P 14

- (1) 町民の移動手段の現状と対策は
- (2) デジタルガバメントの実行状況は
- (3) 自治体インボイス制度への対応は

高野 晃議員……………P 15

- (1) 養殖業者に寄り添う政策を
- (2) より良い施設になることに期待

阿部 薫議員……………P 16

- (1) 法面環境美化整備の促進を
- (2) 飯子浜復興道路の今後は

宮元 潔議員……………P 17

- (1) 災害時のための避難訓練と課題
- (2) いち早い物価高騰対策を

次回の定例会は3月1日からの予定です。

なお、議会中継は女川町議会ホームページで配信しますので、ご視聴願います。

詳しくは、町議会事務局(電話54-3131内線312)へお気軽にお問い合わせください。

木村
きむら
公也
こうや
議員

問 町財政安定化へ向けた取組は

答 財政構造と需要に対応して取組む

答弁者 町長



問 町長の公約の一つである「歳入歳出のバランスの安定化へ向けた取組を今のうちから」とはどうのことですか。

答 財政調整基金に余裕があるから大丈夫、といふことでなく、執行原理を立て、それを組織で共有していくことが最終的には重要です。その他にも、例えば行政ニーズは今後も増加が見込まれますが町の行政規模に合わせた職員の定数管理も必要です。両立させるには労働環境の向上やDXの推進などの変化も受け入

れる必要があり、制度やルール以外にも考慮していくべき重要な部分となります。近年は、維持管理費の増大に加え、コロナ禍での町単独事業や旧一小の解体、浦宿駅新築といったスポット的な事業が歳出の増大要因になっていくことが最終的には重要です。その他にも、例えは行政ニーズは今後も増加が見込まれますが町の行政規模に合わせた職員の定数管理も必要です。両立させるには労働環境の向上やDXの推進などの変化も受け入



将来を見据えた町財政の安定化を

問 使用済核燃料税である法定外税として原子力発電関連施設のある市町村で既に5市町が導入しています。

本町でも使用済核燃料

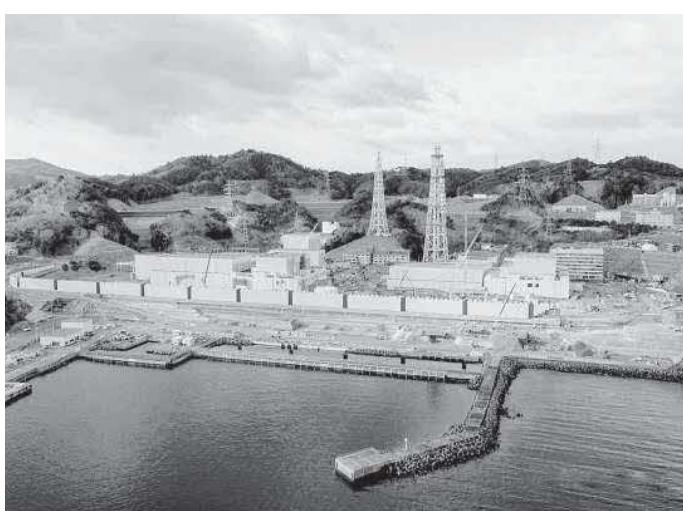
が一時保管されていることから、使用済核燃料税の導入をすべきではありますか。

答 使用済核燃料税については、既に柏崎市などで税制度として設定をしています。他立地自治体でも、その使用済核燃料に対して賦課しています。本町でも内部的にこの制度設計を取り入れた場合の事務的な検討は行ってきています。

その制度導入についても議論の対象となりますが、こういった先々の投資的経費のことも織り込みつつ、ある程度の枠組みを描いていきたいと考えています。

答 市町村の具体的な協議、

や総務省（国）との協議等のタイミングを踏まえ、
かかるべき時期が来た際には、具体的なアクションを当然考えていかなければならぬというのが現段階での認識です。



使用済核燃料税の早期導入を

問 使用済核燃料税を導入すべきでは

答 タイミングを踏まえ協議を進める

答弁者 町長

問 一般財源の
確保対策は
滞納額の縮減を
図っていきます

答弁者 税務課長



QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 国道沿いの雑草等の刈取り主体は

答 道路管理者である県となります

答弁者 建設課長

これまで何度も何度か国道398号の植栽帯について質問してきました。

問 国・県道の道路並びに花壇の刈取り等は、年1回、県が主体で行うとのことでしたが、時期や範囲はどのようになっていますか。町内の他地区では、年2回のクリーン作戦の際に歩道沿いの刈取りを行っていますが。

答 国・県道の道路並びに花壇の草刈りについては、道路管理者である県が年1回実施していることを確認しており、例年6月頃に雑草が道路にか

ぶら下がるよう、道路脇およそ1メートルの範囲で草刈りを実施しています。

なお、要望や苦情があつた場合にも柔軟に対応していただいています。

問 枝が大きくなり、道路にはみ出している場所も見受けられますが、町が関わって協働で行うことはできないのですか。

答 道路管理者が明確に定められており、維持管理費用の面からも国・県道については、その管理主体である県が維持管理を実施すべきものであると考えます。



側溝から伸びている状態の雑草

問 総合運動場内樹木剪定および芝生保守管理業務の回数や場所はどうなっていますか。

答 芝生管理は刈込み、除草剤散布、施肥を年2回、消毒を年1回行っています。樹木管理は植木や植込みの剪定、除草剤散布、施肥、病害虫防除の薬剤散布を行っています。

問 野球場の外野スタン

ドは、11月になりシーズンがほぼ終了してから刈取りを行ったようですが、始めからこの時期を予定していたのですか。

答 11月に実施したのは、業者の実施計画に基づく2回目の刈込みで、予定どおりのものです。

問 野球場の外野芝生を植えてから3年を迎えようとしています。なかなか根付かないようですが施工業者等に確認は行いましたか。

答 芝の状態は、時期的に表面全体が枯れており、土の一部が露出している箇所もありますが、芝は

根付いているという認識です。施肥のタイミングなど、業者に指導をいた

だっています。

答弁者 教育局長

問 運動公園内の保守管理は

答 指定管理移行後も同様に

問 総合運動場内樹木剪定および芝生保守管理業務の回数や場所はどうなっていますか。

答 芝生管理は刈込み、除草剤散布、施肥を年2回、消毒を年1回行っています。樹木管理は植木や植込みの剪定、除草剤散布、施肥、病害虫防除の薬剤散布を行っています。

問 野球場の外野スタン

ドは、11月になりシーズンがほぼ終了してから刈取りを行ったようですが、始めからこの時期を予定していたのですか。

答 11月に実施したのは、業者の実施計画に基づく2回目の刈込みで、予定どおりのものです。

問 野球場の外野芝生を植えてから3年を迎えようとしています。なかなか根付かないようですが施工業者等に確認は行いましたか。

答 芝の状態は、時期的に表面全体が枯れており、土の一部が露出している箇所もありますが、芝は

根付いているという認識です。施肥のタイミングなど、業者に指導をいた

だっています。

答弁者 教育局長



常に綺麗な状態での利用を

問 ライドシェア導入、町長の見解は

答 ライドシェアの活用も一つの手段

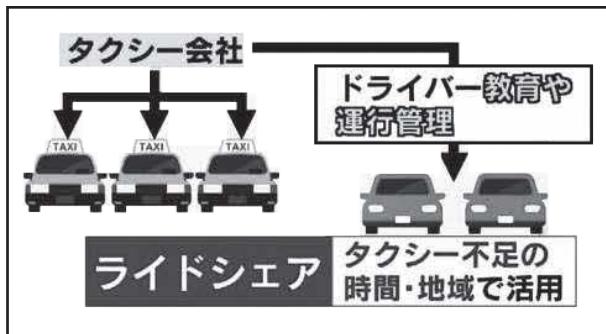
答弁者 町長



普通免許しか持たない一般ドライバーでも自家用車に有料で客を乗せて走る「ライドシェア」について、政府は今春にも導入する方向で調整に入りましたとされています。

問 町民の移動手段確保の方策の一つとしてライドシェアによる運送サービスを検討してみてはどうですか。多くの方法により安定的な町民の移動手段を確保するため、見解を伺います。

答 ライドシェアについて、活用すべき一つの手段と捉えています。



交通課題の解決へ、新たな挑戦を

政府が唱えるライドシェアは、震災前に本町で行っていたデマンド形式に近いようなイメージを持ちます。デマンド形式については、様々な自治体で運行展開する事業者が現れたり、スマートフォンを活用したデマンドの仕組みがありますので、可能性があれば本町でも町民バスだけに限らず実施していくたいと思います。地域住民の足の確保は、政策的にも大きい課題の一つと捉えておりま

いきます。

問 町内の医療機関をかかりつけ医にしたいと望む子育て世代に寄り添う対応を。現状の受診者数での判断では改善されません。常勤医の配置は難しいとしても小児科医師の派遣口数を増やすことはできませんか。

答 小児科医師の派遣については、派遣をいただいている東北大学病院の医局との調整が必要です。

現状では、地域医療センターが東北大学の医局からヒアリングを受け、患者数や地域性を考慮して

派遣の優先順位が決定されています。引き続き派遣をいただけるよう、要請していきます。

問 小児科拡大、子育て世代へ安心を

答 健康福祉課長



常勤医の配置で安心と負担軽減を



問 物価高騰対策の取組は

答 先行して事業者向け支援を実施

答弁者 産業振興課長

現在の状況は物価高騰で生活が苦しくなった人だけでなく、「仕事が激減し生活が大変」（自営業者）「力キの死滅が7割もあり、ホヤ、ホタテも同様」（養殖業者）との声が聞かれます。

間町全体も地域経済が疲弊していると感じますが、どのように把握していますか。

答 商工会アンケートでは、緩やかではあります

が売上の減少傾向に改善が見られ、養殖漁業は、カキ、ホタテの死滅が発生していることを承知しています。

問 国（補正予算）の事務連絡の具体的な内容は。

答 国からは総合経済対策の中で重点支援地方交付金が追加され、年内の予算化を速やかに進めるよう周知がありました。

問 町独自の支援策として、全町民への商品券の発行を物価高騰対策と地域経済活性化の両面からも実施すべきでは。

問 全町民を対象とした商品券事業は費用が膨大となり長期的な経営安定に繋がるものといえないとため考えておりません。（10のうち4自治体）、一部訂正します。



物価高騰、全町民への支援策を

問 学校給食費の無償化を

答

一部無償化を教育委員会と協議

答弁者 町長 教育局長

なぜ県内トップの財政力を持つ本町で給食費無償化を実施しようとしないのか納得がいきません。

問 国の補正予算「エネルギー・食料品価格の物価高騰に伴う子育て世帯支援」の活用で無償化を実施できると考えますが。

答 本町では食材料費の物価高騰による影響分を保護者に求めず町費で賄つており、給食費無償化のための財源とはならないものと理解しています。

反問（町長）

問 財政力トップは発電所の大型償却資産による税収であり、廃炉主張し合っています。

問 被災児童生徒（4割）の分を国に戻さなければならぬので、完全無償化はしないとする根拠は。

答 原発による財源であることは認めますが、現にある財源・を子育て支援に使ってはと考えます。



無償化が大きく広がっています

問

介護福祉施設の
拡充を

答

石巻圏域内の
入所施設は充足

答弁者 健康福祉課長

佐藤
誠一
議員



問 町民の移動手段の現状と対策は

答 より良い公共交通を目指します

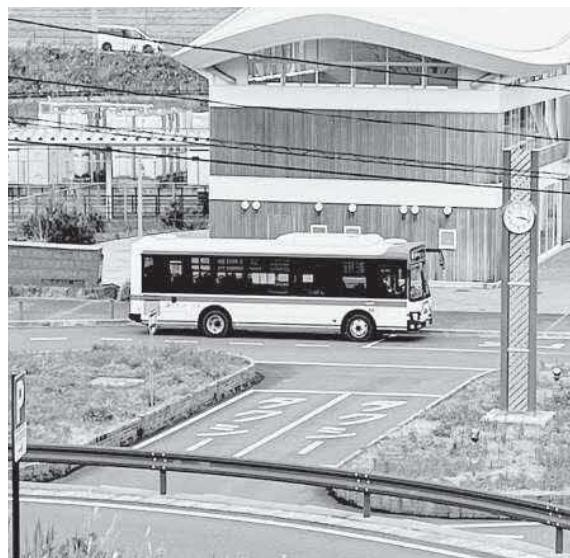
答弁者 企画課長

問 交通網の選択肢は多種多様。

問 町民バスの利用率と路線運営に対する町民の評価の分析結果は。

答 町民バスの利用率は、令和2年度では1万2645人に対し、直近1年間では、2万2109人で約1・7倍となっています。

評価については、アンケートで満足、概ね満足と回答された割合が56・7%で、過去の調査と同水準ではありますが、満足度が高い状況ではないと認識しています。



超高齢化の課題は足の確保

問 デマンドバス・タクシーや乗合タクシー、最近では岸田首相も発言しているライドシェアの課題と意義、本町での導入計画は。

答 デマンドバス等の課題としては、事業者や運転手の確保、ライドシェアについては、法律の改正や安全性などを課題と認識していますが、交通弱者対策として有効な手段の一つであり、地域住民の利便性向上につながるものと考えます。引き続き地域住民のニーズの把握など情報収集に努めています。

問 令和4年度と令和5年度を比較して、本町の窓口業務のデジタル化進行状況は。

答 令和5年2月から転入・転出のワンストップ手続きを開始しています。教育委員会では、高等学校等通学費等補助金などの電子申請を令和5年9月から開始しています。

問 本町における行政手段のデジタル化によるワンストップサービスおよびオンライン化推進の具体例は。

答 国が主導する戸籍の情報連携では、戸籍証明が本籍地以外でも取得できるなど便利になります。

問 自治体インボイス制度への対応は制度に関係する全会計で対応済み

答弁者 総務課長

問 デジタルガバメントの実行状況は

※DX（デジタルトランスフォーメーション）
デジタル技術を活用し仕事や生活をより良いものへと変化させること

答 住民サービス向上へDXを推進

答弁者 企画課長

窓口業務のDX化やワンストップサービスの進捗状況について伺います。

問 国のデジタル・ガバメント実行計画に基づく令和5年度の本町自治体DX進捗状況は。

答 自治体情報システムの標準化、共通化に向けた業務の洗い出し、児童手当や保育関連の行政手続きをスマートフォンができるよう進めています。

また、職員の業務効率化等システムの導入も行っています。



窓口業務はワンストップで

高野
たかの

晃
あきら
議員



問 養殖業者に寄り添う政策を

答 動向に注視し対応していきます

答弁者 産業振興課長

問 アルプス処理水の海洋放出の影響で中国などが水産物の輸入を禁止し、ホタテやナマコなどへの影響が取り上げられていますが、本町養殖業者等への影響はどうですか。

答 本町におきましても処理水放出に伴う諸外国の禁輸措置等により、養殖業者等への損害、影響が概に発生しています。

問 養殖業全体への町としての対応は、賠償が支払われるまで無利子の融資や生活や納税を含めた相談体制を町でも作るべきと考えますか。

答 水産物の禁輸措置を通じて撤廃を求める要請を行うとともに今後の動向に注視し、相談体制を含め対応していきます。

問 東京電力が石巻市に相談窓口を設置しましたが、賠償の交渉がいまだに決まっていません。しかし機能していますか。

答 早期に開園できるよう準備を行っていますが、条例や使用区画の募集、抽選並びに利用者説明会

問 防鹿フェンスが山側には設置されません。シカなどはあの程度の傾斜は行き来できますが設置しないのですか。

答 山側斜面からの侵入について再度確認します。

問 冬を越して翌年5月に収穫する野菜もありますが、何年か同じ区画を借りることはできますか。また、4月から利用するに当たり、たい肥や石灰を入れなどの準備があるため、供用開始を2週間ほど早められませんか。



野菜を作つて健康つくり

問 より良い施設になることに期待

答 3月下旬に開園

答弁者 産業振興課長



国会議員にも窮状を訴える

問 健康の増進にも期待が持てる町民農園ですが、フェンス工事も終わり休息椅子も設置され形が見えきました。現在の農園整備の進捗状況は。

答 12月25日までの工期で完成となります。また、町民農園の条例については、本12月定例会に上程しているところです。

問 防鹿フェンスが山側には設置されません。シカなどはあの程度の傾斜は行き来できますが設置しないのですか。

答 山側斜面からの侵入について再度確認します。

問 法面環境美化整備の促進を

答 法面への影響を考慮し検討します

答弁者 建設課長

QRコードから
一般質問の動画
が見られます




答 本町は復興によるコンパクトシティとして報道され、多くの来訪者が期待をもって訪れていますが、町中心部においては法面に生い茂る雑草が目に付くような状態となっています。主な箇所の法面環境美化整備対策を伺います。

問 女川小中学校周辺、西区バイパス周辺並びに女川橋から石浜地区までの法面管理の現状対応と今後の環境対策は。

答 町道法面は、道路として使用するためには植生等が支障となるか、植生

が法面に悪影響を与えるかを判断基準として維持管理を実施しています。

問 各行政区および各企業と連携した環境整備計画の実施検討は。

答 道路法面は高低差があり斜面となっているため、行政区等による除草作業は安全面の観点から懸念があります。各企業との連携は町に有益であれば検討しますが、企業側の意向で管理方針が変更されると道路利用者への影響が考えられるため、道路管理者が責任を持つて実施すべきと考えます。



教育環境周辺美化整備促進を

問 大石原浜から野々浜間に別計画案等について県から提示されていますか。

答 飯子浜復興道路は、県道であることから、県が事業主体となり整備を実施し、供用の開始がなされています。

問 指摘のあった箇所については、地権者との交渉の結果、現在の形になっています。県からは、地

答 権者と継続して交渉しているのですが、相手もいることであり、現在のところ見通しは立っていないと伺っています。

問 本町としては、早期に現在の状況を解消できるように引き続き県へ要望していくきます。

問 飯子浜復興道路の今後は

かおる
議員

答 引き続き県に改善を要望していく

令和4年10月に飯子浜復興道路事業の本線部全線が供用されました。

当該箇所の今後の道路整備計画の方向性また

は別計画案等について県から提示されています。

当該箇所が変更となつた箇所があります。

飯子浜復興道路は、

県道であることから、県

が事業主体となり整備を

実施し、供用の開始がな

されています。

飯子浜復興道路は、

県道であることから、県



潔議員

QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 災害時のために避難訓練と課題

答 訓練の反省点を次回に活かします

答弁者 企画課長

避難所になれない集会所

どこに避難すればよいのか

避難訓練は、万一のときを想定しておくことが重要です。各家庭や会社など、それぞれの人が持つ意識の違いは大きいのが現状です。だからこそ行政が行う避難訓練は重要な意味を持ちます。

問 11月5日の避難訓練の参加者数と焼き出しの状況は。参加者が少ないようですが周知不足ではなかつたでしょうか。

答 訓練の参加者は、362人で焼き出し訓練は13行政区で実施いただきました。周知は、広報誌や防災行政無線などで行

間違った避難場所に誘導しては避難訓練にならないのでは。

今回の訓練では、避難行動を取ることを最優先に考えたため、土砂災害時に使用できない避難所を避難先とした地区もありました。今後の訓練で対応していきます。

新しいハザードマップはいつできますか。

答 住民税非課税世帯等への7万円の追加給付金は、システム導入後の1月中旬に対象者へ通知して受付を始め、1月下旬から順次振込みします。前回申請手続きが必要だった世帯は、簡素化します。

問 事業者向けには今後どのような経済対策を考えていますか。

答 各事業者が平等に受けられる施策を望みます。

答 燃料高騰により経営が圧迫されている事業者に向けた支援策として、

今回、高圧及び特別高圧電力を利用する事業者と運送事業者に絞って支援を実施する予定で補正予算を計上しました。

間世帯当たり7万円を支給する国の補正予算が成立し、支給対象世帯が示されました。素早い対応を期待しますが、いつ頃の支給になりますか。

追加給付金は1月下旬から支給

答弁者 町民生活・産業振興課長



小さい冷蔵庫でも電気代がかかる

* ラキラ・いきいき



つなぐ

～すべての人が
「自分らしく」
生きる～



リンクスポーツ（年少～小3）



キッズスポーツ（保育所）



アクティブクラブ（放課後学校）

原田直信さん

「たくさん挑戦して
一緒にスポーツを楽しみましょう!!」

女川町・石巻市の保育所、幼稚園、小学校を中心活動を行っています。「すべての人が『自分らしく』生きられるようにサポートできる伴走者でありたい」と熱い想いを持つ原田さん。

活動中は子どもたちのイキイキした楽しい声が響き渡り、満面の笑みがあふれています。そんな原田さんが一番大切にしていることは、「子どもたちと、共に喜び、悔しがり、楽しむこと」だといいます。

町では少子化に伴い、部活動の衰退や団体競技が縮小され、スポーツ活動が少なくなっています。子どもたちがさまざまにスポーツに触れ、自分にあったスポーツに出会えるきっかけとなる原田さんの活動は、子どもたち、そして女川町の未来に希望をもたらしてくれます。

議会でも、子どもから大人まで町民のスポーツ交流の場や健康づくりを推進していきます。

子どもたちと共に

活動を楽しみにしてくれる子、からだを動かすことが習慣になった子が増えたことに変化を感じ、喜びにつながっています。今後は、運動習慣の形成を目指すとともに、女川の事例をもとにプログラムを全国に拡大していくことを考えています。

『自分らしく』生きられる社会の実現に向けて、社会に貢献し続けます。

できるよつになつてうれしい！



議会より

またやりたい
もつとやりたい

ありがとうございました
読んで下さって
ありがとうございます
聞きました

広報に議決の重み
したためる
委員長 関田 翔
みんなの身近な議会となるように
なる
副委員長 阿部律子
町議会知ってほしいと
なる
委員 高野 晃
鈴木公義
佐藤誠一

各委員からの
あとがき川柳

広報委員会の構成が
新たになりました。

議長 佐藤 良一
発行責任者
佐藤 鈴木 高野 宮坂 阿部 千尋 律子 翔
佐藤 誠一 公義 晃 千尋 律子 翔